



ESDom

藤木小 環境教育担当

大仙市大曲南地区環境教育通信

藤木小版

E:Education for

S:Sustainable

D:Development

o:omagari m:minami

H.29.5.10

No.1

本校の「ESD」の活動について



藤木小学校は、今年度も大曲南中学校、角間川小学校と連携を図りながら、「ESD」の活動に取り組んでいきます。

大曲南中学区の3校は、平成22年度から「環境」についての教育活動を展開し、昨年度から「ESD」をスタートさせました。「ESD」とは、「持続可能な開発（発展）のための教育 [Education for Sustainable Development]」です。今、国際的な5つの諸問題があります。①地球温暖化や酸性雨等の地球環境問題、②生物多様性危機、③民族や宗教の紛争、④貧困と食料問題、⑤世界経済の破綻等です。そして、地球の未来のために持続可能な社会の担い手を育成していくことが、「ESD」の目的です。

具体的には、研究テーマ『未来を見つめ、地域とともに進める環境教育の研究～ふるさとと積極的に関わり、ふるさとのよさを発信しようとする児童の育成を目指して～』をもとに、環境の学習を中心にしながら、普段の授業でも“進んで参加する態度”“コミュニケーションを行う力”“多面的・総合的に考える力”“批判的に考える力”等の育成に努めていきたいと考えております。

今年度も「ESD」の学習の活動状況や成果について「ESDom」通信にてお知らせいたします。地域や家庭のみなさんに、今年度もたくさんのご協力をいただくことになるとと思います。よろしくお願いいたします。

「田んぼの学習」スタート



総合的な学習の一環として、ふるさと藤木を題材とした5年生の米作りの学習を、下深井地区の伊藤さんのご協力によりスタートすることができました。「田んぼ」を通して、米作りだけでなくエコや自然との関わりなどについて学習します。「ESD」の視点に立った問題解決型の学習を展開しながら、たくさんの“ふるさと藤木のよさ”を発見できることでしょう。

5月24日には「全校田植え」が予定されています。子どもたちとともに、田植えはいかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

【種まき体験】



4/26 種まき



伊藤さんのハウスに出かけての種まき体験を行いました。わざわざ作ってくださった自作資料をもとに、伊藤先生から分かりやすく説明していただきました。働いた後の飲み物も格別でした。

【畦ぬり、肥料まき、耕起作業の見学・体験】



5/1 畦ぬり・肥料まき



5/8 耕起作業

びっくりするぐらいの大きな機械で、畦ぬりや田おこしの作業がどんどん進んでいきました。肥料もまきました。準備が進んでいます。

